

アデル、ブルーは熱い色 (2013)

LA VIE D' ADELE
BLUE IS THE WARMEST COLOR

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 フランス

色彩 Color

時間 179分

初公開日 2014/04/05

公開情報 コムストック・グループ

映倫 R18+

【キャッチコピー】

あの時から、
生きることは喜びになった――

【解説】

2013年のカンヌ国際映画祭でみごとパルムドールに輝いた女性同士の愛の物語。青い髪をした年上の女性と出会い、レズビアンに目覚めていくヒロイン、アデルの情熱的な愛の人生を描く。作品のテーマとともに、その赤裸々な性愛描写が物議を醸した問題作。出演は「ルルドの泉で」「マリー・アントワネットに別れをつけて」のレア・セドゥと本作の演技で一躍注目の存在となったギリシャ系フランス人の新星、アデル・エグザルコプロス。監督はこれまでも数々の映画賞を獲得してきた俊英、アブデラティフ・ケシシュ。

高校生のアデルには上級生の恋人トマがいたが、満たされぬものを感じていた。そんな時、髪をブルーに染めた女性とすれ違い、心奪われる。すぐにトマに別れを告げたアデル。ある夜、偶然入ったバーであの青い髪の女性と再会する。彼女の名はエマ。年上の美大生だった。知的で洗練されたエマに急速に惹かれていくアデル。ほどなく、互いに心だけでなく肉体も激しく求め合うようになる2人だったが…。

【クレジット】

監督	アブデラティフ・ケシシュ	Abdellatif Kechiche	
原作	ジュリー・マロ	Julie Maroh	『ブルーは熱い色』（DU BOOKS刊）
脚本	アブデラティフ・ケシシュ ガーリア・ラクロワ	Abdellatif Kechiche Ghalia Lacroix	
撮影	ソフィアン・エル・ファニ	Sofian El Fani	
編集	カミーユ・トゥブキス アルベルティーヌ・ラストラ	Camille Toubkis Albertine Lastera	
出演	アデル・エグザルコプロス レア・セドゥ サリム・ケシシュ モナ・ヴァルラヴェン ジェレミー・ラウールト アルマ・ホドロフスキー バンジャマン・シクスー	Adèle Exarchopoulos Lea Seydoux Salim Kechiouche Mona Walravens Jeremie Laheurte Alma Jodorowsky Benjamin Siksou	アデル エマ サミール リーズ トマ ベアトリス アントワーヌ